

国際環境基盤学特別演習 I II III IV V (博士後期課程)

2007年4月入学改訂

2007-04-02 山路永司

本演習は毎週1回程度、研究室ゼミ形式で開催されるとともに、必要に応じて指導教員とのディスカッションを行う。I～Vともに、毎学期開講するが、最初の学期にIを受講すること。II～Vはその次の学期以降、順番を問わず受講できる。

それぞれの内容は次の通りである。

特別演習 I (選択、2単位)

「主題と目標」他分野論文読解。

「内容」国際環境協力に関係する学術論文で、自分が修士論文で対象とした分野以外の分野の論文から3編以上を分析的に読む。論文の背景、目的、方法、結果、考察を要約し、それについて考察を加える。どのように改善すればよいかの提言も行う。1編の論文について5ページ程度のレポートにまとめ、ゼミで発表・討議し、学期末に改訂レポートおよび学期総括文書を提出する。

「成績評価方法」出席(15回)および改訂レポートの内容で評価する。

特別演習 II (選択、2単位)

「主題と目標」博士論文のテーマに関する文献解題。

「内容」博士論文での研究分野・テーマについて、関係論文を網羅的に収集し、それぞれの論文のその意義と位置づけを整理する。どの論文で何が明らかにされ、別の論文でそれが発展し、あるいは否定され、といった研究の流れが俯瞰できることが望ましい。以上をとりまとめ、ゼミで発表・討議し、学期末に改訂レポートおよび学期総括文書を提出する。

「成績評価方法」出席(15回)および改訂レポートの内容で評価する。

特別演習 III (選択、2単位)

「主題と目標」博士論文のテーマの他地域・他国への適用可能性の考察。

「内容」博士論文の研究分野において、他地域・他国への適用可能性を考察するために、そのテーマに関連する社会経済条件を国際的に比較する。当該地域は世界の中でどのように位置づけられるのか。社会経済条件の類似する国・地域にはそのまま適用できるのか、できないのかを考察する。社会経済条件の異なる国・地域についても同様。進捗状況および結果をゼミで発表・討議し、学期末に改訂レポートおよび学期総括文書を提出する。

「成績評価方法」出席(15回)およびレポートの内容で評価する。

「教科書・参考書等」ODA白書など。

特別演習 IV (選択、2単位)

「主題と目標」社会調査手法。

<研究テーマや手法が著しく離れている場合は、別の目標を設定する>

「内容」博士論文の研究分野において、アンケート調査、ヒアリング調査を設計し、実施し、解析する。解析手法については、多変量解析あるいは数量化理論を習得する。進捗状況および結果をゼミ

ミで発表・討議し、学期末に改訂レポートおよび学期総括文書を提出する。

「成績評価方法」出席（15回）およびレポートの内容で評価する。

「教科書・参考書等」社会調査法、統計解析の本（多数あり）

特別演習V（選択、2単位）

「主題と目標」空間解析手法。

＜研究テーマや手法が著しく離れている場合は、別の目標を設定する＞

「内容」博士論文の研究対象地域において、リモートセンシングデータ解析、GIS解析などを行い、主題図を作成する。進捗状況および結果をゼミで発表・討議し、学期末に最終レポートを提出する。

「成績評価方法」出席（15回）およびレポートの内容で評価する。

「教科書・参考書等」リモートセンシング、GISの本（多数あり）